

としょかんたより

【下條村立図書館 141号 2019年7月15日発行】

梅雨が明ければ夏休みも間近…令和最初の夏休みは、どんな計画をたてますか？図書館には、すでに「自由研究の本ありますか？」とたずねてくる小学生もいます！夏の準備は、お早めに！

としょかん大好き家族

内山さんご一家

PART 115

粒三

今年中学校へ入学した内山実花（みはな）さん（長女・13歳）は、将来の夢について「まだ決まっていないけど～中略～読む人が楽しめる雑誌をつくりたいです」と小学校卒業時発行のPTA会報に書いています。本が大好きな実花さん、お話を聞いてみると、どうやら家族みんなが本好きのようです！

内山さんご一家が下條村に引っ越してきたのは、7年ほど前。お父さんの転勤で引っ越しを繰り返してきたけれど、そろそろ定住を…と考えた時に、実花さんの小学校入学を機に決めたそうです。いとこ家族がすでに村に住んでおり、「下條村はいいよ」と勧めてくれたそうです。「住んでみてやっぱり良かったと実感しています」とお母さんの直美さん。そのころから図書館にも通い始めました。

実花さんの学年は本が大好きな友だちが多く、高学年になると友だち同士で勧め合ったり、自分の本を交換して読んだり…と本を中心にはまざまな交流があるようです。『暗号クラブ』などの推理もの探偵ものが人気です。実花さんの一番心に残った本は、『The MANZAI』（あさのあつこ作）…「主人公の気持ちにとても共感しました。マンガも好きだけど、学校が舞台の物語が今は好きです」と話します。

次女の花瑛（はなえ）さん（5年・11歳）は、「本を借りてきた日はずーっと読んでいます。ごはんに呼んでも止まりません…」とお母さん。お姉ちゃんの影響で謎解きや探偵もののストーリーが大好きですが、科学の本も好きで、実験などには興味津々です。国語よりも理科や算数が好きだという花瑛さん…4歳ぐらいから、文字を覚え読み書きもできたそうです。同じ本好きでも、お姉ちゃんとはちょっと違うタイプかな？

長男の瑛太郎くん（1年・6歳）は、このところ『妖怪横丁』シリーズをずっと気に入っています。が、今は『日本の昔話』を楽しんでいるそうです。家にもある『くれよんのくろくん』（なかやみわ作）は、何度も声に出して読み、絵に描いて楽しんでいます。

「私自身も、実は読み出すと止まらなくなってしまうので、図書館の本は借りすぎないように気を付けています。家の仕事ができなくなると困るので…」と直美さん。

お話を聞いている間中ずっと同席して話を聞き、答える子どもたち。こんな落ち着いた空気は久しぶり…そんな内山さんご一家でした。

もくじ

- 1p：図書館大好き家族
- 2p：阿知原めだかカフェ
- 3p：めだかビオトープ
- 4p：新刊ぴっくあっぷ



阿知原めだかカフェ

阿知原地区有志のみなさんが、“めだかカフェ”を毎月5日の午後、阿知原コミュニティ会館で開催しています。ミニふれあいサロン（村福祉課が開く高齢者介護予防事業のひとつ）が前身で、さらに幅広い参加者を呼びかけ、毎回さまざまな趣向を凝らし大勢が関わる楽しい会となっています。



このカフェの魅力は、すべて手作りで行われていること。午後1時のオープンとともに、続々と人が集まっています。駐車場には「コーヒー」と書かれたのぼり旗がたくさん立ち、入口にはおしゃれな手描きの看板が置かれています。

玄関を入れるとさりげなく活けられた野の花が迎えてくれます。受付では、生き生きとした表情のご高齢の女性3人が迎えてくれ、なんだかほっとします。

参加費200円（コーヒーとお菓子付き）を払い、クロスがかけられたテーブルに向かいます。そこにも小さく飾られた野の花が、彩りを添えています。各テーブルでは人々が談笑し、薫り高い本格コーヒーを飲みながらそれ話に花が咲いているようです。



7月5日(金)の催しは…「津軽三味線のつどい」

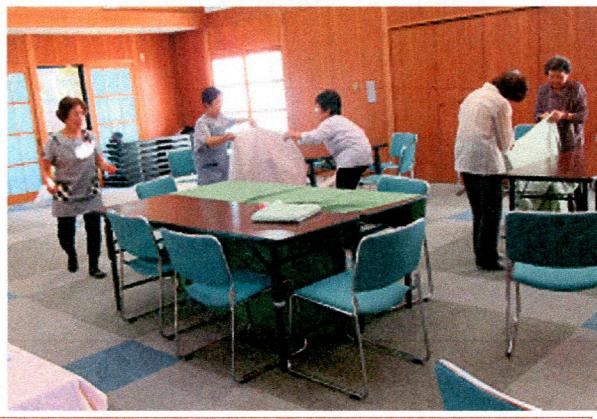


2時になると、いつの間にか会場はいっぱいの人。今日のテーマ津軽三味線は、太棹（ふとざお）と呼ばれる大型の三味線で、小山（おやま）流、貢冴（みつさえ）会（飯田市）の女性奏者5人による約1時間におよぶ迫力の合奏です。有名な「ソーラン節」「木曽節」「東京音頭」「武田節」「黒田節」の曲の由来や、三味線のしくみ等のお話も聞くことができ、一緒に歌いながら楽しい時間を過ごしました。最後には、「津軽じょんがら節」の迫力の演奏に、会場中から大きな拍手喝采が起きました。参加者は、地区内だけでなく村全域、村外からも集まり約40名、実りある時間となりました。



“めだかカフェ”では毎回、住民の手作り雑貨等のバザー販売（とても素敵なものがたくさん！）、図書館の本の貸出もあります。

この本は、主催者の北尾隆代さん、後藤町子さんが、月に1回図書館へ来館し選び、「阿知原ミニふれあいサロン」のカードで借りていくものです。ふだんは北尾さんのご自宅に置かれており、そこで借りることもできるし、もちろんミニふれあいサロンで貸出もしています。この活動で、年間約70人が200冊近くの図書を借りています。



終了後、お片づけをするスタッフの皆さん。

「めだかカフェ」が始まりました。“めだかの学校”では、時には出かけていき「飯田美術博物館の展示見学ツアー」や映画館で「みんなで映画を見るツアー」、食事、カラオケなども行います。

昨年8月に始まったこの活動も、もうじき1年を迎えますが、7月現在で延べ参加者は300人と盛況です。

個人の生きがいが地域のつながりを深め、個人も地域も元気になる。結果として外へ発信することにもつながり、このカフェは人々にとって「何かが始まる場所」「何かと出会える場所」になっているようです。「また行ってみたいな」そう思える何かがあります。興味のある方は、ぜひご参加ください！

「メダカを見に行こう！」

阿知原コミュニティ会館から車で3分ほど道をいくと、めだかのいっぱいいる田んぼ（ビオトープ）に到着。土手の小川にはゲンジボタルが自生しており、毎年6月下旬～10日間ほどは見事な群れをなし、見学者も大勢訪れるそうです。広い田んぼには、穏やかに山からの水が流れしており無数のメダカが最高の環境の中で暮らしています。ゲンゴロウ、コオイムシ等さまざまな生き物も見ることができました。親子で見ると、感動することがいっぱいあります！



亀割正夫さんがお世話をビオトープ。
「ぜひ見に来てください」とのことです！

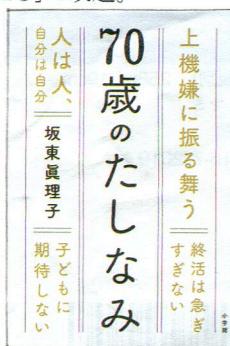
新刊 ぴっくあっぷ



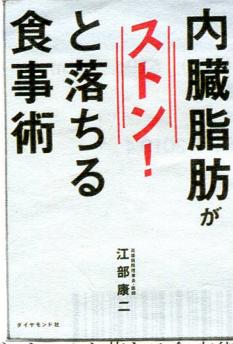
「ノーサイド・ゲーム」池井戸潤著 ダイヤモンド社／大手自動車メーカーのエリート社員・君嶋h工場の総務部長に左遷させられ、ラグビー部のゼネラルマネージャーを兼務することに。ラグビーの知識もない君嶋が、お荷物社会人ラグビーチームの再建に挑む。TBSドラマの原作。



「ガラスの城の約束」ジャネット・ウォールズ著 早川書房／NYで活躍する記者・ジャネットが明かした極貧の少女時代。夜逃げを繰り返すなか、夢ばかり追う身勝手な父母への怒りと愛の狭間で苦悩しつつ、少女は勇敢に人生を切り拓いていく。2019年6月公開の同名映画「ガラスの城の子どもたち」の改題。



「70歳のたしなみ」坂東眞理子著 小学館／人生100年時代の70代は貴重な黄金時代。「意識して上機嫌に振る舞う」「終活は急ぎすぎない」「子どもに期待してはいけない」など、70代を健やかに快く生きるために、たしなみを紹介する。



「内臓脂肪がストン! と落ちる食事術」江部康二著 ダイヤモンド社／運動ゼロ、糖質制限と1日2食の「半日断食」の組み合わせでOK。「糖質制限」の体系を確立したバイオニアが、内臓脂肪を劇的に減らす、医学的に正しい体重の落とし方「食べトレ」を伝授する。



「平場の月」朝倉かすみ著 光文社／病院の売店で再開した、元男子の青砥と元女子の須藤。50年生きてきた男と女には、老いた家族や過去もあり…。心の隙間を埋めるような感情のうねりを、求め合う熱情、生きる哀しみをしみじみと描く、大人の恋愛小説。



「新聞記者」望月衣塑子著 KADOKAWA／官房長官会見で次々と質問を繰り出す著者。演劇に夢中だった幼少期、矜持ある先輩記者の教え、スクープの連発、そして母との突然の別れ…。歩みを紐解きながら、劇的に変わった日々、そして記者としての思いを明かす。



「天才の思考」鈴木敏夫著 文藝春秋／「風の谷のナウシカ」から「風立ちぬ」「かぐや姫の物語」まで。高畑勲と宮崎駿、二人の天才の創造の秘密、強烈すぎる個性のぶつかり合いを、最も間近で支え続けたプロデューサーが語る。最初で最後の特別鼎談も収録。



「食べるつなぐレシピ～漬ける、干す、蒸すで上手に使いきる～」振田優子著 家の光協会／大根、白菜、キャベツ…。食材を丸ごと使いきる方法と保存法のほか、著者の食生活に沿った、蒸した穀物や、野菜を使ったレシピを紹介する。著者の考えを綴った「冷蔵庫をすべてたこと」「世界の食の共通点」等の文章も収録。



「つみびと」山田詠美著 中央公論新社／灼熱の夏、彼女はなぜ幼い子2人を置き去りにしたのか？追い詰められた母親、しに行く子ども達…。痛ましい事件の深層に分け入る、迫真の長編小説。『日本経済新聞』夕刊連載を単行本化。



「寂聴先生、ありがとう。」瀬尾まなほ著 朝日新聞出版／忘れない、先生の一言、先生からの最高の贈り物…。作家・瀬戸内寂聴と過ごして8年、秘書としての仕事、初著書をしてからの変化や不安、自分の恋愛観、学んだこと、感じたことを、感謝の想いとともに綴る。



「インスタグラム商品写真の撮り方ガイド」6151 中野晴代著／人気写真家がSNSで魅せる&映える商品写真の撮影テクニックを伝授。商品を撮影する上でおさえたい心得、機材の使い方や、光の基本的な考え方、RAW現象による仕上げ、被写体ごとの詳細なテクニックなどを紹介。



「やってみよう！楽しい手芸！エコクラフトの基礎BOOK」寺西恵里子著 日東書院本社／エコクラフトの魅力は意外と簡単にできて、便利に使えること！エコクラフトで編めるかごとバックを紹介。ぶきっちょさんでも綺麗に仕上がるコツが満載。